

尼北だより



学校通信 第488号

平成29年9月29日

尼崎市立尼崎北小学校

校長 都倉 功 充

体験学習でひとまわり大きく成長

5年生が、9月25日（月）から29日（金）まで、4泊5日の自然学校へ行ってきました。兵庫県北部にある美方高原自然の家「とちのき村」という自然に囲まれた施設での体験では、たくさんのお話を学ぶことができました。具体的な活動でいうと、丹波立杭焼き陶の郷での陶芸体験、星空観察、ツリーイング、沢登り、基地づくり、ナイトハイク、野外炊飯、キャンドルサービスなどです。子どもたちは、自然の厳しさと大きさ、仲間と力を合わせることの難しさと仲間の優しさ、自分自身の弱さとたくましさを感じたでしょう。つまり、自然学校のなかで、自然と対話し、仲間と対話し、そして自分と対話してきたのです。この経験は、これからの学校生活や人生においてプラスになることでしょう。また、家族と離れたことで、家族の温かさや優しさを実感することもできたと思います。ひとまわり大きくなった5年生のこれからの楽しみです。

10月は、6年生が修学旅行に行きます。5日（木）と6日（金）の1泊2日で、リトルワールド、岐阜城、ナガシマスパーランドを訪れます。そして、日本や世界の自然や文化・産業にふれ、人間と文化について学び、国際的視野と感覚を養います。もちろん、団体としての規律や公衆道徳においてもしっかり身につけます。そして、小学校最後の宿泊行事で仲間との絆を深めてほしいものです。



掃除で育てる心の成長

さて、2学期に特に力を入れてほしいことを子どもたちに話しました。それは、掃除を頑張ることです。掃除は、単にきれいになればいいというのではなく、その活動に教育的意味があると日本の教育では重んじられてきました。時間内にどこをどの手順できれいにしていくのかを考え、それを仲間と協力しながら行います。子どもたちにとって、汚れているところを雑巾がけしたりほうきで掃いたりするのは、楽しいことではないかもしれませんが、それを辛抱したり乗り越えたりすることは、人生の中で大切なことだと思います。汚れているところが美しくなるという達成感も実感してほしいと思います。

最近、廊下を低学年の人と一緒に雑巾がけをする6年生や、トイレ前のこびり付いた汚れを必死に落とそうとする3年生の姿を見て、嬉しく思っています。

みんなの力で校舎も心もきれいな尼崎北小学校にしていきたいと思います。